

おめでとう！

読書感想文山形県コンクールで最優秀賞



(左)担任の鈴木先生

11月17日、第56回青少年読書感想文山形県コンクールが開催され、蚕桑小学校3年古名幸未ちゃんが書いた『『点子ちゃん』と私』が最優秀賞を受賞しました。小学校から高校まで合計6万6218点の応募の中から最優秀（15点）に選ばれた幸未ちゃんは、「まさか私の感想文が選ばれると思わなかったのうれしいです。」と感想を話してくれました。感想文は全国コンクール（2月結果発表）にも出品されます。

地域全体に福祉・エコの意識を

白鷹町中高合同エコ活動



12月7日、東西中、荒砥高校の合同エコ活動によるペットボトルキャップの贈呈式が山形銀行荒砥支店で行われました。地域のかたがたの協力などもいただいて集められたキャップの総重量は約180kg。ポリオワクチン約90人分になるということです。山形銀行では、昨年度から独自にペットボトルのキャップを集め、ポリオワクチンを送る活動を行っており、中高生がその活動に賛同して収集・贈呈されました。

楽しく安全なシーズンになりますように

スキー場安全祈願祭



12月17日、町営スキー場の安全祈願祭が行われました。当日は、スキー場従業員やスキー連盟、学校関係者など約40人が出席し、今シーズンの無事故を祈願しました。今年は、日本にスキーが発祥して100周年の年だそうです。毎月第3日曜日は、小学生までのリフト代が無料になる「スキーこどもの日」もあります。この冬は、ご家族連れで町営スキー場を満喫してはいかがでしょうか。

安心して「冬」を迎えてもらいたい

高齢者世帯火災予防訪問



12月8日と9日の2日間、高齢者世帯火災予防訪問が行われました。消防白鷹分署、東北電力、健康福祉課の3者が連携して行っている事業で、台所や風呂場など火の周りの点検や漏電のチェック、さらに、これから冬を迎えるにあたって生活上の不安などが無いかなどを聞き取りを行いました。今回は、横田尻・山口地区のお年寄り世帯15世帯を訪問。訪問を受けたお年寄りも安心された様子でした。

瑞宝双光章を受章(秋の叙勲)

廣瀬健治さん(荒砥)

平成22年秋の褒章において、廣瀬健治さん(元日本郵政公社職員)が郵便事業の功労者として瑞宝双光章を受章されました。廣瀬さんは、鮎貝郵便局長を20年以上上務められ、その間、ゆうパックの商品開発などを通して、町内の特産品を全国に発信・PRされるなど地域貢献活動に尽力されました。

また、山南地区(置賜3市5町62局)会長や、東北地区の郵便局長会副会長を歴任されるなどの功績によりこのたびの受章となりました。



※12月号で紹介するべきところ
でございましたが、事情により
今月号での掲載となりましたこと、
お詫びいたします。